

ムゲン・プレゼンツ

頭が良くなるのはいつ？

塾に通っているから「頭が良くなっている」と思っていますか？
それは間違っています。
塾に通っても、
自分の頭を働かせなければ、
頭は良くなりません。
AとBの例をご覧ください。

A 講師の説明を聞く

説明通りに
すぐに問題を解き始める

どちらが頭を
働かせている？

B

問題を解く前に
理解できたか確認する

一見、**A**はすらすらと問題を解き、楽しそうに学習しており、賢そうに見えます。しかし、彼らは講師がやったことを真似しているだけで、自分の頭を使って考えているわけではありません。ですから、賢くはなりません。

Bは問題が解けなくて困っているわけではありません。問題を解く前に、今、習ったことが理解できたか、確認しているのです。自分の頭を使って考えているこの時こそ、頭がよくなっているということを多くの大人は忘れているようです。

「考える力」を育む塾

むげん塾では、頭を使うタイミングと方法を、
日々、指導しております。
具体的な指導方法については、
裏面をご参照ください。



むげん塾

頭を使うタイミング

先生、
わかりません



1. 疑問を持つ時

各教科、新しい単元に入る時には、導入の解説があります。その解説に対してすぐに分かった気にならず、「なに?」「なぜ?」と疑問を持てるようになります。その時、頭を使っています。理解できない時は、すぐに質問しましょう。

質問の仕方にもレベルがあります。まずは「先生この問題が分かりません。」という質問の仕方です。質問ができたということで、第1段階クリアです。しかし、この質問の仕方は、問いに対し、何をどこまで考えることができ、どこからが分からないのかが明確になっていません。つまり、なんとなく分からないのです。頭の中がクリアになっていない状態です。ですから、なんだかよく分からない段階から、もう一歩進んで、「先生この問題をこう考えてみたんだけど、ここから先が良くわかりません。」という質問ができるようになるのが理想です。このような質問をするにはかなり頭を働かせる必要があります。

2. 解き方をイメージする時

質問をして、説明を受けた時、すぐに問題に取り組み、頭の中で解き方を思い描き、自分が理解できているかどうかを確認しましょう。多くの子は、これができていません。その時、なぜそうなるのか納得がいかなければ、妥協せず、何度でも質問を繰り返しましょう。時間がかかり遠回りのようですが、理解が深まり、何度も同じ問題を繰り返しやらなければならないという無駄が省けます。

※説明を聞くと多くの生徒は「分かった気」になって、すぐに問題を解こうとします。しかし、それは先生や講師のまねをしているだけであって、自分の頭を使って思考をしておりません。「分かった気」になって、思考を停止してしまっている。その時、問題は解けるかもしれませんが、【自分の頭を使って考えていない＝中途半端な理解にとどまっている】ので、すぐに忘れてしまいます。この「分かった気」が学力の向上を妨げているのです。

3. 間違っただけの問題があった時

問題を解き、答え合わせをして、間違っただけの問題があった時は頭を使うチャンスです。間違っただけということは、今、自分の能力において何が欠けているかが見つかったということです。ならば、その能力を身に付ければ良いだけです。塾で学習する時は、学校でテストを受けているのとは違いますから、間違っただけでも構いません。間違っただけの問題があれば、その問題に対してもっと深い思考をすることになりますから、その時、賢くなります。間違いは自分を成長させる宝物と考えましょう。

頭を使う方法

1. 基礎・基本から

基礎・基本から固め、「学力の幹」を育てる。例えば歴史であれば、時代名を順に覚えることから始めます。その後、徐々に中身をつめていく学習により、全てを忘れて0からやり直す無駄をなくします。

2. つながりを考える

新しい単元に入る時や新しいことを身に付ける時には、まずつながりを考えてみましょう。それぞれの要素はバラバラではありません。つながっているのです。そのつながりをつける作業が、思考であり、その時、頭の働きが高まるのです。

3. 脳を刺激する

覚えなければならないこと（英単語や漢字）は、頭に覚えさせましょう。ノートに何度も何度も繰り返し書く時、頭は働いているのでしょうか?ほとんど機械的に、無意識的に手が動いているだけで、すぐに忘れてしまいます。脳に刺激を与えなければ、記憶することはできません。

4. 復習が大事

その日に学校や塾で学んだ学習内容を、家で保護者に説明すると効果的な復習になります。うまく説明するには、しっかり内容を理解した上で、考えて話をしなければなりません。人間の脳は、その日おこったことを48時間以内に他者に話をすると、記憶にとどまりやすいのです。学力を定着させるためには、復習が大切です。



頭を使ったとき、人は賢くなる。

むげん塾 塾長 大谷浩司